

# 2012年度事業計画書

(2012年1月1日～12月31日)

法人の名称 NPO 法人 教育支援グループ Ed. ベンチャー

## 1 事業活動方針

NPO 法人となり3年目を迎える今年度は、昨年度より開始した東日本大震災支援事業でたくさんの人々の賛同を得たことも受け、認定 NPO 法人格の取得も視野に入れ、当法人の理念や活動のさらなる周知を進める。

活動面では、特に学校支援事業については、取り組みの変更や周知方法の工夫によって新規参加者を呼び込み、現在の教育課題を共に考える活動者を増やしていきたい。常にスタッフ不足の状態にある外国人支援事業については、引き続きスタッフの拡充を図り、外国人の保護者や子どもたちのニーズを的確に捉えられるようにする。そして震災支援事業については、活動を開始した昨年度よりも活動回数は減少することが見込まれるが、逆に、被災地の学校や子どもたちの中で起きていること、変化に鈍感になることのないよう、支援対象学校や子どもたちの現状を把握しながら活動を継続することを目指す。

## 2 事業内容

### 1) 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 学校支援事業

##### ア 教師・保護者支援部

#### ①理論学習会

- ・内 容 今現在、学校で起こっている問題や学校を取り巻く社会、これから子どもたちが進んでいく社会の状況など、学校に関わって考えておく必要があるテーマを取り上げて、月1回の学習会を行う。文献購読に合わせた講演会や、小・中学校で実際に起こった事例をもとにした研究会、さまざまな形の理論学習会を進めていきたいと考えている。

<今年度計画>

- 1月 事例研究-生徒指導について
- 2月 教育講演会に向けての学習会 ～講師土井隆義先生の著書のレポート～
- 4月 調査分析 学級集団分析 調査方法について
- 5月 講演会 子どもの発達・脳について(講師:野井真吾氏・埼玉大学准教授)
- 6月 調査分析 学級集団分析 分析結果から考察
- 7月 事例研究 対応に悩む児童・生徒への対応
- 8月 文献購読 若者の就職・労働について
- 9月 講演会 若者の就職・労働について(講師 中西新太郎氏・横浜市立大学教授、または後藤和智氏・「後藤和智事務所 OffLine」代表)
- 10月 講演会 評価について(講師:高木展郎氏・横浜国立大学教授)
- 11月 講演会 ネットと子ども (講師:大多和直樹氏・帝京大学講師)
- 12月 事例研究 母親への支援 事例研究

<次年度計画>

1月 講演会 不登校の子ども(講師:松永雅文氏・大和市青少年センター)

2月 講演会 学校組織・外部機関とのかかわり

・日 時 毎月第一月曜日 19:15～21:00

・場 所 富士見文化会館

・従事者人員 3人

・対 象 者 教師・教職志望の学生を中心に、広く一般市民なども対象

・支出見込額 33,000円

### <拡大理論学習会(仮)>

・内 容 外国人について考える理論学習会を別枠で企画する。通常の理論学習会は、参加者のほとんどが教員であるが、広く市民の参加者も募りたい。

テーマ「外国人の現状について」(講師:清水睦美氏・東京理科大学准教授)

・日 時 10月20日(土)

・場 所 富士見文化会館

・従事者人員 3人

・対 象 者 教師・教職志望の学生を中心に、広く一般市民なども対象

### ②小5・6教室

・内 容 教員が外国人の小学校5・6年生を対象に月2回の授業を実施する。高学年の外国人の子どもたちが抱える課題に向き合うことで、教員の実践力向上を図る。また、教室に参加する子どもたちが、安心して中学校に向かえるように、基礎学力を身に付け、集団の中での横のつながりを意識した授業を、年間を通して組み立てていく。その上で、外国人がぶつかる壁や抱える不安についても、授業に取り入れていく。

<今年度計画> 1月 小学校の総復習 2回

2月 中学校に向けて 2回

3月 卒業式

4月 オリエンテーション

5月 授業「算数」2回

6月 授業「国語」2回

7月 授業「社会」2回

8月 イベント(家庭科)

9月 授業「音楽」2回

10月 授業「数学」2回

11月 話し合い(イベントに向けて)

12月 イベント

<次年度計画> 1月 授業「外国人が抱える問題」

2月 卒業式に向けて

3月 卒業式

・日 時 原則毎月第一・第三土曜日 17:30～19:00

・場 所 渋谷中学校開放

・従事者人員 3人

- ・対象者 外国人の小学校5,6年生
- ・支出見込額 21,000円

### ③教育講演会

- ・内容 講師:筑波大学准教授・土井隆義先生  
演題:「親密性と排除・・・子ども社会と子どもを取りまく社会」(後援:大和市教育委員会)  
親密性と排除が表裏一体となっている子ども世界を解きほぐし、その背景となっている学校教育や社会の現状をみつめる。活動担当者による著作の読み合わせ、講師との打合せ会を経てテーマを具体的に絞り込み、講演会とパネルディスカッションに反映する。今年も、大和市教育委員会の後援を得て開催することとなった。交流会についても、講師を交えておこないたい。
- ・日時 2012年2月18日(土) 13:40-16:30
- ・場所 渋谷学習センター 多目的ホール
- ・従事者人員 活動担当人数 4人 当日係 15人
- ・対象者 会員 市民 学校関係者 学生 研究者
- ・支出見込額 149,000円

### ④教師相談

- ・内容 ささまざまな課題を持つ児童が、クラスの中できちんと位置づくような授業はどうすれば可能なのか、指導方法、指導形態、教材内容などを研究しあい、生き生きとした授業を創造できるようにしたい。また、気軽に相談できるように相談窓口を開放しておきたい。そして、相談に応じるためのスタッフは、随時コーディネートしていきたい。  
具体的な計画 ①研修会計画
  - ・ 学年、学級経営の計画の立て方について(4月初め)
  - ・ 低学年児童の教材発掘(通年)
  - ・ 各学年の国語、算数の重点課題検討について(5・6月中)
 ②従来通りの相談活動
- ・日時 不定期
- ・場所 当法人事務所、富士見文化会館、大和市内小・中学校
- ・従事者人員 3~4人
- ・対象者 小・中学校教諭など
- ・支出見込額 13,000円

## イ 学校支援部

### ①研究者による支援

- ・内容 ①学習状況調査の実施・分析を支援する。  
②外部団体からの研究者紹介に随時対応する。
- ・日時 ①2012年4月~6月 ②不定期
- ・場所 ①富士見文化会館 ②当法人事務所ほか
- ・従事者人員 ①②2~3人
- ・対象者 ①理論学習会参加教員 ②相談者を特定しない

- ・支出見込額 10,000円

## ②教育ボランティア

- ・内 容 要請に応じて、学校や教師の支援を行う。3月までは引き続き引地台中学校の外国人生徒支援を継続し、放課後教室での外国人生徒の居場所づくりを支援する。その他、学校や教師の要望があれば、組織的検討を経た上で対応する。
- ・日 時 随時
- ・場 所 神奈川県内の公立学校
- ・従事者人員 4人
- ・対 象 者 学校、教師、子ども
- ・支出見込額 25,000円

## ③ホームページ支援

- ・内 容 ①Ed.ベンチャーサイトのリニューアル：  
ブログシステムのシンプル化—5月をめどに実施  
デザインの変更—9月をめどに実施  
5月にモックアップを作成、比較検討してもらおう  
②ホームページ支援のスタッフ育成  
スタッフを募集—随時  
ホームページ制作ノウハウのマニュアル化、年2回程度の講習会  
③すたんどばいミーサイトの立ち上げ支援  
すたんどばいミーのサイトを立ち上げる(システムはインストール済み)支援を行う
- ・日 時 不定期(年10回程度 学校支援・その他適宜オンラインでの情報交換作業)
- ・場 所 当法人事務所など
- ・従事者人員 2人
- ・対 象 者 当法人、すたんどばいミー、学校等
- ・支出見込額 5,000円

### (2) 外国人支援事業

#### ア 大人支援部

##### ① 生活相談

- ・内 容 外国人の方の相談に応じる。外国人の方が日常どのような問題に遭遇するかが、2011年を通して見えてきた結果、弁護士等専門家をたのむ必要が多くあった。今後は助成金等を申請し、弁護士、通訳をしてくれる人たちと共に活動していく。
- ・日 時 <定期相談>毎週日曜 11:00—13:00(日本語教室開催時)  
<不定期の相談>随時
- ・場 所 渋谷中学校開放、当法人事務所、その他適宜
- ・従事者人員 4人
- ・対 象 者 外国人
- ・支出見込額 91,000円

## ②お父さんとお母さんのための日本語教室

- ・内 容 外国人のお父さん、お母さんのための日本語教室を開催する。「聞く」「話す」「書く」を指導の重点とし、漢字指導は小学校4年生までの漢字の読み書きの習得を目標にする。日本の社会情勢を伝える。特に「原発」など簡略化された漢字語の解説に力を入れる。生活相談と連携し、外国人の生活上の問題を明らかにしていく。年1回のパーティーの内容を検討し、自分の考え・思いを日本語で話す場にしていく。

日本語教室を通して外国人どうしの繋がりを築けるよう努力したいと。

- ・日 時 毎週日曜日(毎月4回)10:00~12:00
- ・場 所 渋谷中学校開放
- ・従事者人員 6人
- ・対 象 者 外国人の大人
- ・支出見込額 48,000円

## イ 子ども支援部

### ①保証人事業

- ・内 容 外部の奨学金を受ける際に、保証人を用意できない外国人の学生の保証人を引き受ける。保証については、依頼者との面談を経て保証を決定する。年2回報告会を開き依頼者が保証人グループへ、保証内容、返還状況、近況を報告する(文書を添えて)。
- ・日 時 依頼の面談は随時、報告会は1月28日(土)と7月
- ・場 所 富士見文化会館、渋谷中学校開放
- ・従事者人員 保証人グループメンバー9人
- ・対 象 者 外部の奨学金を受ける際に、保証人のいない外国人の学生
- ・支出見込額 16,000円

### ②すたんどばいみー基金の会

- ・内 容 「すたんどばいみー」など当事者団体で活動する大学生及び大学院生に対して、大学に関わる費用の貸与に関する業務を行う。
- ・日 時 ①2011年度報告会 2012年1月28日(土) 14:00~20:00  
※本年度はすたんどばいみーの活動を参観できる時間を設けて、その後、報告会を開催する。  
②常任委員会 不定期
- ・場 所 ①渋谷中学校開放 ②富士見文化会館
- ・従事者人員 2人 常任委員 12人
- ・対 象 者 支援者 49名+新規支援者 貸与者 6名
- ・支出見込額 21,000円

### ③エステレージャ・ハッピー

- ・内 容 外国人児童生徒を対象とした学習支援を行う。  
<大和教室>主に大和市内の外国人児童生徒を対象とした学習支援教室。とりわけ、今年度は、就学前児童を拾い上げ、早い段階で様々なケアができるようにしたい。又、今年定着した新6年生を中心

に、自主運営を目指し、イベントも企画する。チラシによる募集と駅前掲示板によるスタッフ募集で呼びかけを行う。

＜厚木教室(KokusaiB.G.)＞主に厚木市内の外国人児童生徒を対象とした学習支援教室。厚木市は外国人家庭が集住しているわけではないので、外国人児童生徒は学校や地域で孤立しがちである。フィリピン系の子どもが集まっており、抱えている課題に共通な部分があるため、学習だけでなく、お互いに話をしたりイベントを企画する機会を設け、学習者同士のつながりを強化する活動を目指す。

- ・日 時 ＜大和教室＞ 土曜日 10:00－12:00  
＜厚木教室(KokusaiB.G.)＞ 水曜日 17:00－19:00 土曜日14:30－16:30
- ・場 所 ＜大和教室＞ 林間小学校開放  
＜厚木教室(KokusaiB.G.)＞ 厚木市ヤングコミュニティーセンター他
- ・従事者人員 15人
- ・対 象 者 外国人児童生徒 各回15人
- ・支出見込額 257,500円

#### ④ 当事者活動支援

- ・内 容 「すたんどばいみー」をはじめとする、外国人青少年当事者による活動に対して、活動費の補助、助言、協力をを行う。
- ・日 時 随時
- ・場 所 不定
- ・従事者人員 3人
- ・対 象 者 外国人の子どもの当事者団体
- ・支出見込額 75,000円

#### ウ 学校及び外国人支援に関する普及啓発事業

- ・内 容 当法人の周知及び学校支援、外国人支援の必要性を広く市民に呼び掛けるため、パンフレット、会報、講演録を作成し、配布する。また、HPの更新を行う。
- ・日 時 ＜パンフレット＞作成・配布:3月 ＜会報＞作成・配布:1月・7月  
＜講演録＞作成・配布:3月・5月・9月 ＜HP更新＞随時
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 4人
- ・対 象 者 会員及び配布希望者
- ・支出見込額 12,000円

#### (3) 法人の事業円滑実施のための活動

- ・内 容 法人の活動を円滑に遂行するため、事務局の運営、活動報告会開催を行う。
  - ①事務局の活動:外部からの問い合わせや依頼に対する対応、各活動の掌握、活動相互の連携補助、スタッフブログの更新、法人の出納に関すること、資料整理、活動報告会の設定、会員管理
  - ②活動報告会の開催:各活動の報告、活動間の連携に関する事項や活動推進上の諸問題解決に関する事項、総会に付議する事項を検討。
  - ③総会の開催

- ・日 時 ①事務局:原則10:00-18:00 ②活動報告会:6回程度  
③総会:2月18日(土)11:00-12:00
- ・場 所 ①事務局:当法人事務所 ②活動報告会:富士見文化会館他  
③総会:渋谷学習センター
- ・従事者人員 ①事務局:事務局員及び事務局ボランティア4人  
②活動報告会:理事25人  
③総会:正会員:104人
- ・支出見込額 871,000円

## 2) 特別会計事業

### (1) 東日本大震災支援事業

- ・内 容 ①陸前高田の支援に関しては、2011年11月7日に、被災地にて「教育支援チーム「まつ」を立ち上げ、これまでの Ed.ベンチャーの活動を現地で継続・発展させていくための団体づくりに移行してきている。次年度は「まつ」の後方支援として事業を行っていく。また、「すたんどばいみー」のモビリア仮設住宅での子ども支援の後方支援も行う。
  - ②石巻市万石浦子ども支援に関しては、3月末のお別れ会をもって区切りとする。それ以降は、夏休み・冬休みの支援、手紙等による支援に移行していく。
  - ③富岡町の学校支援に関しては、当初「30万」という金額枠を提示して支援を始めたが、物資の寄付等があり、20万ほどの残額を残しているため、次年度1年間は継続的な支援を検討していく。
- なお、会計については、2012年度も「特別会計」にて事業を継続し2013年度期での統合を視野に入れて会計処理を進めていく。また、会員ではない寄付者については、会員登録をお願いしていく。
- ・日 時 不定期
  - ・場 所 被災対象地
  - ・従事者人員 3人
  - ・対 象 者 被災地関係者
  - ・支出見込額 4,877,497円

### (2) すたんどばいみー基金

- ・内 容 「すたんどばいみー」など当事者団体で活動する大学生及び大学院生に対して、大学に関わる費用の貸与を行う。
- ・日 時 不定期
- ・場 所 随時
- ・従事者人員 2人 常任委員12人
- ・対 象 者 貸与者6名
- ・貸与見込額 6,790,000円